

健康ぶらざ

No.374

企画:日本医師会

インフルエンザ 予防はワクチン、 治療は48時間以内に!

世界的に新型インフルエンザが流行した際、日本は死亡率を最低限に抑えることができました。それは、インフルエンザウイルスが体内で増えるのを抑える抗インフルエンザ薬による治療がほぼ完璧に行われたことによるもので、世界から高く評価されています。

治療は48時間以内に開始することが大切ですので、

突然の高熱など、インフルエンザかもしないと思つたら、早めにかかりつけの医師を受診しましょう。

インフルエンザの予防にはワクチンを接種しましょう。

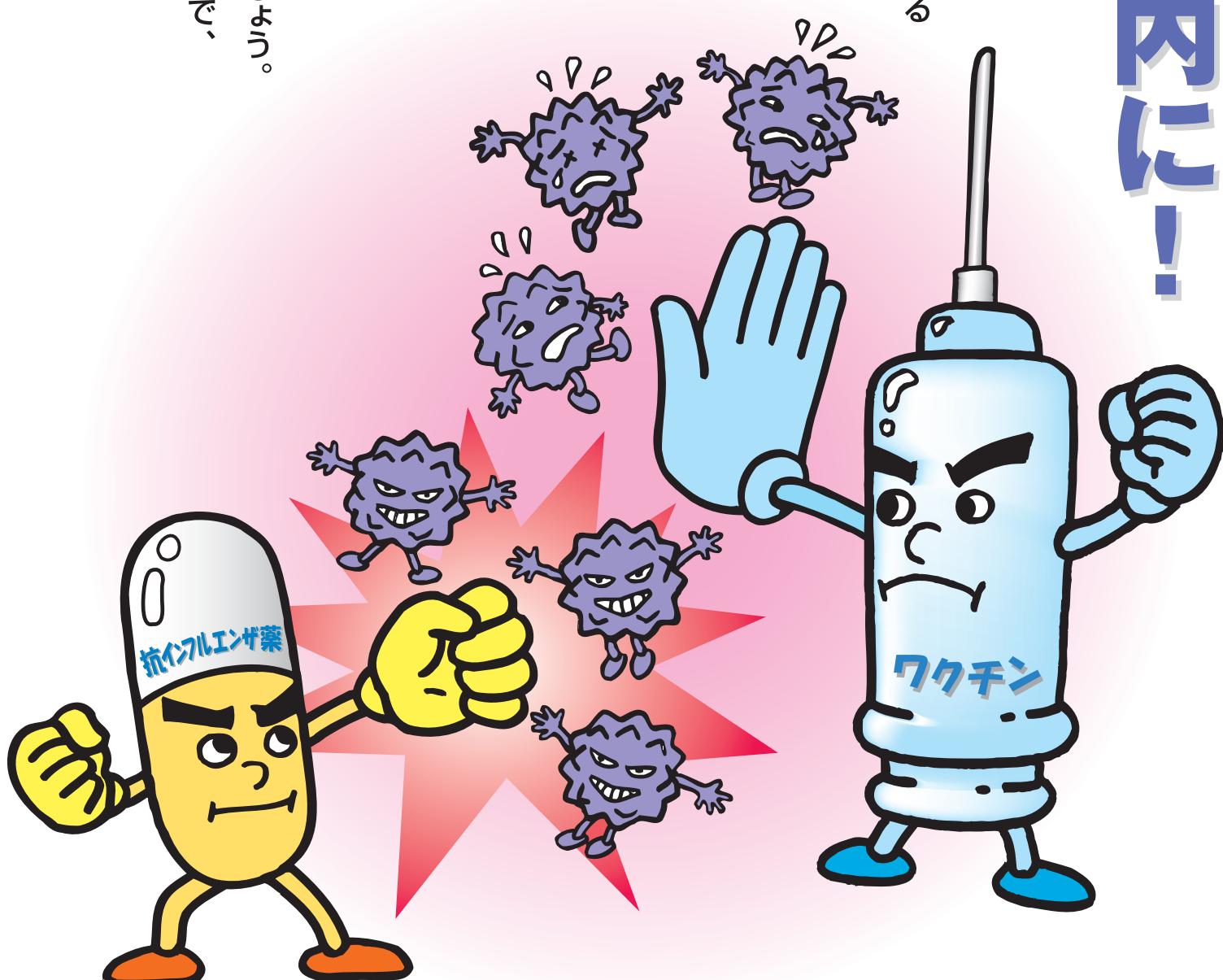
乳幼児や65歳以上の高齢者と、

糖尿病、心臓病、喘息などの慢性疾患のある人は、流行前の11月末頃までに接種するのが理想的です。

また、健康な大人や学生もできるだけワクチンを受けましょう。

本人の予防だけではなく、インフルエンザ患者が減ることで、間接的に乳幼児や高齢者などリスクの高い人たちを

インフルエンザから守ることができます。



指導：けいゆう病院小児科 菅谷 憲夫